

第5章 本四備讃線（茶屋町～児島）

第1節 旅プラン

第369回目のウォーキングは、平成25年12月28日（土）、風が冷たい中実施。歩きの当初は曇り空で雨になるかも知れないような空模様でもあったので、折り畳み傘を持参して挑戦。しかし、幸いなことに雨にはならず、途中から晴れ模様となり、この季節としてはまずまずの天候に恵まれる。昨日、1時間早退した関係で、本日のウォーキングへの機会を得た。正に移動時間で一日儲かった感じ。正月休み（12月28日（土）～1月5日（日））を活用して実施。自宅には1月1日、のぞみ24号（岡山発12時24分）で戻る。



東京駅を17時40分ののぞみに乗り、岡山には21時4分着。新幹線の中では、ビールと日本酒を飲みながらの旅をする。そこからマリンライナー65号（21時12分）に乗り継ぎ、高松駅には22時8分到着。高松駅からは琴電に再度乗り継ぎ、実家には23時頃到着。母が首を長くして待ってくれていた。感謝あるのみ。

第2節 12月28日(土):茶屋町～児島 晴れ

茶屋町(10:49)～植松(11:58)～木見(13:12)～上の町(15:15)～児島(16:06)



高松駅



瀬戸内海

茶屋町駅

井戸駅を9時8分の電車で高松築港駅(運賃は430円)へ。そして、そこから高松駅10時10分発のマリンライナー22号に乗り継いで茶屋町駅(運賃は1,140円)に移動する。本日踏破する茶屋町～児島12.9kmは大半がトンネルであった。その間に上の町駅、木見駅、植松駅があった。植松駅の先で、宇野線が合流してくる。茶屋町10時49分に到着。暫く駅前で記念写真(10分位)。駅前には茶屋町健康マップがあり、「茶屋町はむかしは海」とあった。また、怖そうな2体の「茶屋町の鬼」の像があった。線路は高架されていた。その左側を歩く。



茶屋町駅前

高架された右側には単線の宇野線があった。この線路は昭和 60 年頃まであり、かつては四国連絡への大事な鉄道であった。今では、寂れた感はあるが……。11 時 11 分、地神という交差点を通過。11 時 32 分、塩干踏切を越え、鉄道の右側となる。11 時 40 分、宇野線がいつのまにか、瀬戸大橋線の左となり、双曲線を描く感じで瀬戸大橋線から離れて行く。11 時 43 分、200m 位先の宇野線を 2 両編成の茶屋町駅方面に向かう電車が強く印象に残る。



宇野線

11 時 48 分、万歩計で 86 歩ある郷内川を渡る。その先は倉敷市から岡山市となる。その先に本日最初の植松駅（11 時 56 分）があった。駅舎名がないので、階段を 10m 位上がったホームにある植松駅をデジカメに収める。直ぐ先はトンネルであった。それ故、最初の山越えのための迂回が始まる。県道 21 号線（岡山児島線）を歩く。12 時 12 分、下電バスの西植松バス停がある。少し行った先は倉敷市であった。



植松駅

12 時 15 分、丸亀製麺を見かけたのでここで昼食とする。沢山の人の行列ができていた。釜明太子たまごうどん（480 円）を注文。とても美味しい。ここで約 30 分消費する。この店を出る時、木見駅への行き方を教えて頂く。「二つ目の信号を左に曲がり道なりに進んで下さい」と教わる。左手には小高い山裾が続く。



12時50分、熊野神社前を通過。この沿線には初詣のチラシがいたるところに展示されていた。12時52分、倉敷吟醸の店があった。この辺りでいつの間にか晴れとなる。何にももの通行人の方にお尋ねし、13時8分、やっと前方にJR線が見えて来る。



熊野神社

木見駅

木見駅には13時12分到着。この駅の先もトンネルであった。駅舎前の地図を確認し、再度幹線道路に出ることとする。2km位の迂回が余儀なくなれた。13時31分、幹線道路（県道62号線）に出る。この路を歩き山越えとなる。13時42分、郷内郵便局前を通過。13時57分、福江バス停前通過。13時46分、沖縄手バス停前通過。14時2分、県道21号線に合流する。14時5分、愛犬セブンと同一名称をもつ“ドッグセブン”（086-485-4745）前を通過。世の中は不思議なものである。その近くに、100歳の天寿を全うした“高原碧山翁顕彰碑”があった。記念碑前でボランティアにて掃除をしている老人の姿があった。



遠くから見た木見駅

愛犬セブンと同一名称の店

14時11分、三軒茶屋バス停前通過。14時17分、道路に沿って100m、幅50m位の池があった。この辺りは峠であった。その先に池田藩主代の崇敬社があった。そして、万歩計で826歩もある巨大な池（幅200m位）があった。池の中央位に福南山バス停があった。



巨大な池

14時31分、児島縫製センター入口バス停前通過。14時37分、茶屋住宅前バス停前通過。道路の反対の先にも池があった。丁度、茶屋町に向かうパトカーと対面する。14時43分、茶屋バス停前を通過。この先の十字路（稗田交差点）で県道21号線を離れ、左折する。14時51分、稗田十字路バス停前を通過。その先に倉敷翔南高校（14時55分）があった。14時57分、滑口バス停前。15時1分、市立短大前バス停前。15時3分、上久保バス停前。15時6分、久保バス停前通過。



上の町駅

15時15分、その先に上の町（かみのちょう）駅があった。この駅もトンネルを出た先にあった。駅舎前の道路地図の概略を頭に入れて歩くことにする。ややこしいルートであった。途中、小田川越えが強く印象に残る。何とか行けると思いスタート。本日は、地図をバックが小さいため持参せず。いざという時には、スマートフォンのナビが強い援軍があるからである。しかし、ウォーキングの醍醐味が半減すると思いこの機能は一切使わず。ここから終着駅までも山越えとなったからだ。ただし、これまでの2回の迂回に比べれば、軽傷な迂回ではあったが。



児島駅への路

15時29分、高架された幅の広い中山公園通りを歩いていた。暫く歩き、児島市街地という道路標識を見て、高架された道路から一般道に降りる。すなわち、下り坂を歩く。15時41分、児島メジャーホール前を通過。15時46分、倉敷市立児島中学校前を通過。前方は山が登場。どこから左に曲がる必要があると思い、車の中で休憩していた女性ドライバーにお尋ねする。「はじめての信号を左折して下さい。遠いですよ」とご教示頂く。左折した道路は、歩きやすい遊歩道のような感じであった。随所に車が通り抜けできないよう柵があった。途中で念のため、通行人にお尋ねする。「真っ直ぐ行くと JR 線の高架されたにぶつかります。その高架に沿って歩いた先に児島駅があります」と懇切丁寧に教えて頂く。

15時58分、情緒を感じる大正橋（小田川）を渡る。この橋は万歩計で50歩あった。

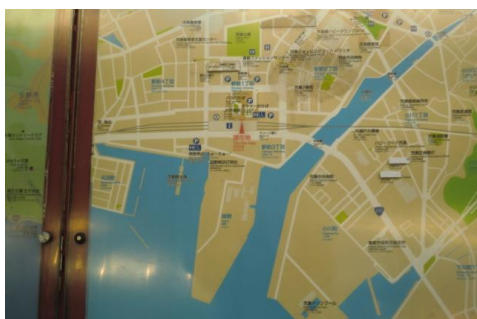


大正橋



児島駅

16時6分、倉敷市立児島市民病院前を通過。16時16分、Gパンがシンボルと思える児島駅に到着。この駅はその昔、島との看板が駅前の掲示板にあった。駅前にはヤマダ電機があった。16時35分発のマリンライナー45号で自宅に向かう。実家には18時10分到着。万歩計は36,742歩であった。本日で、瀬戸大橋線（除く橋）49.1kmの踏破が完成。同時に東京＝高松がつながり、充実した一日となった。加えて、親孝行ができ大満足。



児島駅前



84歳の母



岡山駅